

筑前

CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

年4回発行
5月・8月・11月・2月

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

バックナンバー
はこちらから



- ▶ 6月定例会・第2回臨時会 P2～6
- ▶ 町議会初の感謝決議 P7
- ▶ ここが知りたい 一般質問 P8～12
- ▶ **特集** コロナ禍の今「ありがとう」を伝えたい... P13

第62号

2021.8

6月定例会

6月4日から11日までの8日間の日程で開催された。報告1件・議案4件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。主な議案は以下のとおり。

一般会計補正予算 (第3号)

3億5037万円を増額

骨格予算として編成した当初予算に政策的な予算(肉付け予算)を加えるもの

◆予算増額の主なもの◆

- | | |
|--|---|
| ◇子育て世帯生活支援特別給付金支援事業
3028万円 | ◇原地蔵調整池基本設計業務委託料
825万円 |
| ◇旧三輪町戦病没者芳名碑修復工事・
旧夜須町慰霊碑立像解体工事等
165万円 | ◇教育情報化推進事業(校務用パソコン購入)
※3か年入替計画の1年目
1375万円 |
| ◇プレミアム付商品券発行補助金
150万円 | ◇文化財事務所再建基本計画・基本設計
業務委託料
638万円 |
| ◇空き家対策事業(老朽危険空家等除去費補助金)
500万円 | |

一般会計補正予算 (第4号)

1億4885万円を増額

主に新型コロナウイルス対策関連予算

育ち盛り子どもたちの「食」の応援事業

2220万円

0～18歳の児童生徒がいる
世帯にお米等を配布



みなみの里のトイレ・空調改修工事

1815万円

コロナ感染防止対応のための
改修工事



教育情報化推進事業

1340万円

分散授業の実施のため、小中学校普通教室
以外の教室にWi-Fiアクセスポイントを設置

公共施設の空間安全安心確保

1226万円



非接触型サーマルカメラ
(50台)を購入

保育所・幼稚園等における感染予防対策事業

650万円



町内保育所・幼稚園等に感染症
予防対策のための支援金を交付

山麓地域活性化事業

100万円

山麓地域活性化についての調査研究費

質疑応答

問 山麓地域活性化事業の内容は。

答 山麓線沿線の活性化を図るための調査研究費。地元、学校、企業や福祉施設の方々とワークショップを開催予定。
(町長)

問 育ち盛り子どもたちの食の応援事業の米等の配布時期と対象年齢は。

答 配布時期はワクチン接種の状況で判断する。令和4年4月1日生まれまでを対象とする。
(総務課長)

問 みなみの里のトイレ・空調改修工事の必要性は。

答 故障が多く、度々職員が対応しており、改修も含めて工事を行う。
(副町長)

問 保育所・幼稚園等における感染予防対策事業の金額の振り分けは。

答 園児の人数で仕分けする。
(こども課長)

第2回臨時会

5月24日の1日間の日程で開催された。同意3件、承認3件が提案され、審議の結果、原案のとおり同意・承認した。

◆ 筑前町税条例の一部改正 (主な改正点)

○ 軽自動車税環境性能割軽減措置の延長

※令和3年4月1日施行

・ 税率軽減の特例措置適用期限を9カ月間延長。

・ グリーン化特例のうち50%軽減及び25%軽減を営業用乗用車に限定し、期間を2年間延長。

○ セルフメディケーション税制の延長

※令和4年1月1日施行

・ 健康維持増進及び疾病予防の取り組みとして、特定の医薬品購入費用について所得控除を受けることができる。

○ 個人住民税の非課税の範囲

※令和6年1月1日施行

・ 扶養親族を16歳未満の者及び控除対象扶養親族に限定する。



◆ 一般会計補正予算(第1号) 〇 県知事選挙費

904万円

◆ 一般会計補正予算(第2号)

〇 新型コロナウイルス

ワクチン接種事業費

1億3128万円

質疑応答

問 個人住民税に係る給与所得者の扶養親族申告書に対する準用条文の要件とは。

答 申告書に記載すべき事項の提供を、適正に受けることができる措置を講じていることなどである。
(税務課長)

問 固定資産税等の特例の適用を受けようとする者の

申告等の条文について、分かりやすく住民に周知する手引書のようなものはできないか。

答 作成については検討する。
(税務課長)

選挙管理委員会

◆ 委員

- 前田 義徳 氏
- 一ノ宮 富久美 氏
- 松澤 善孝 氏
- 岡部 由美子 氏

◆ 補充員

- 島村 久雄 氏
- 尾畑 文隆 氏
- 田中 和美 氏
- 倉地 典子 氏

新人事の紹介

副町長(再任)

中野 高文 氏

監査委員(新任)

古山 修治 氏

教育委員会委員(新任)

岡部 新吾 氏



◇町長選挙後の6月定例会において所信表明があり、議会としては、この所信表明がいかにも実現されていくか注視していきます。

北部地域の振興

道の駅
筑前みなみの里
の振興

憩いの場
多目的運動
公園ぽぽろ

歴史を物語
る文化財
の活用

リモート会議
電子マネー
の普及

企業誘致
雇用創出

平和を学ぶ拠点
筑前町立大刀洗
平和記念館

借入残高の減額
健全財政を堅持

スマート農業
の導入

高齢者・障がい者
福祉の充実

コロナワクチン
接種の促進

アフタースクールの
充実

高齢者組織
の運営支援

風土とFoodを
活かし学びと心地よい
田舎暮らしができる
「**とかいなか**の筑前町」

町長のお約束!

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会では、前期より協議していた町の財産管理やインフラの整備について、調査研究を引き続き行います。

町内には老朽化した町営住宅などが点在しています。これらの公有財産が有効に活用できるように執行部と協議して参ります。

また、被災した県道77号線も早期全面開通に対して、町民の皆さんの声が大きく、要望活動を継続して行います。

その他、豪雨災害の対策に於いて、ハザードマップ等では読み取れない、実際の水路等の氾濫箇所の改善について、調査研究を行います。

コロナ禍関係の対策では、住民の皆さんの生の声を行政に

繋ぐ為に、商工会や町内諸団体との意見交換を行い、光ファイバー等、ICT関連の設備が適当であるかなど、委員会では、今期これらの課題を中心に調査研究して参ります。



令和2年7月 県道77号線災害状況

文教厚生常任委員会では、昨年11月に行った教育委員会との意見交換会の総括を行い、今後の課題や政策提言にどう結びつけていくか、議論しました。今年2月には新委員会メンバーになり、委員会テーマを「見て・聴いて・町に提言」と、前回の委員会テーマを継承していくことに決定しました。

4月に町の7ヶ所で分散して保管されている、文化財と民族資料を視察しました。

課題として、分散して資料を保管しているため、湿度管理や活用時に苦慮していることや、すべての施設で老朽化が進み、雨漏り対策や害獣の進入を防ぐための維持管理費用がかさんでいる状況があり、これらを踏まえ、今後の文化財管理についても委員会として提言していきます。

文教厚生常任委員会



文化財保管状況の視察(足田牟田整理室)

委員会ではテーマである「見て・聴いて・町に提言」を具現化していくために、創意工夫した活動をしていきます。

令和3年6月定例会

区分	審議結果	議案名	議員名												
			寺原裕明	柳雅明	持山英幸	石橋里美	木村和彦	深野良二	田口讓司	山本一洋	奥村忠義	山本久矢	木村博文	河内直子	横山善美
報告		令和2年度筑前町一般会計予算の繰越明許費繰越	報告のみ												
予算	可決	令和3年度筑前町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和3年度筑前町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和3年度筑前町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	可決	筑前町手数料条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議	可決	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		新型コロナウイルス感染症と闘う医療・介護従事者等に対し敬意と感謝の意を表する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

第2回臨時会(5月24日)

区分	審議結果	議案名	議員名												
			寺原裕明	柳雅明	持山英幸	石橋里美	木村和彦	深野良二	田口讓司	山本一洋	奥村忠義	山本久矢	木村博文	河内直子	横山善美
人事案件	同意	筑前町副町長の選任	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○
		筑前町監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	可決	専決処分の報告・承認 (筑前町税条例等の一部を改正する条例の制定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
補正予算	可決	専決処分の報告・承認 (令和3年度筑前町一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		専決処分の報告・承認 (令和3年度筑前町一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長 田中政浩は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

国の関係機関へ意見書を提出

意見書採択(全会一致)

委員会審査結果

↓ 採択

総務建設
常任委員会
に付託

本会議で
採決

提出の理由

新型コロナウイルスの出現により、地方自治体に対し、新たな行政需要が高まっている。地方自治体の財政需要を的確に把握しながら必要な財源を確保し、地方財政の確立を目指す必要があるため。

請願

2022年度の政府
予算と地方財政の検討
にあたり、「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める。

(自治労筑前町職員労働組合)

全会一致で可決

「医療・介護従事者等への敬意と感謝の意を表する決議」

新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療・介護従事者等においては、緊張が続く現場で、自らの危険をかえりみぬ献身的な努力が今も続けられている。

このような苦勞が認められている一方で医療・介護従事者等に対する偏見や差別的言動があることも事実である。

病院の職員が、店舗の予約や保育園の卒園式への出席を拒否される、タクシーの乗車拒否に遭うというものや、子どもの学童保育や保育所の受け入れを断られる、配偶者が職場から出勤停止を命じられるという事態も起きている。

筑前町議会としてはこのような実態を踏まえ、医療・介護従事者等に対する敬意と感謝の意を表するために、以下のような決議を全会一致でおこなった。



新型コロナウイルス感染症と闘う 医療・介護従事者等に対し敬意と感謝の意を表する決議

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるう中、我が国では令和2年4月7日に改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく初の緊急事態宣言が発令され、人々の生活や経済活動は大きく制約を受けている。

本県においても、これまでの国の緊急事態宣言の発令を受け、県民生活はもとより、特に検査・医療・救急搬送の現場は、これまで経験したことのない危機に直面している。

全国的に医療・介護従事者等が、いわれなき偏見や差別を受けているとの不本意な報道がある中、感染リスクにさらされながら緊張が続く現場での医療・介護従事者等の自らの危険をかえりみぬ献身的な努力が現在も日々続いている。

よって、筑前町議会は、医療・介護従事者をはじめ新型コロナウイルス対策に携わっている全ての人々に対し、最大限の敬意と感謝の意を表するとともに、その活動を全面的に力強く支える議会活動を展開していく。

以上、決議する。

令和3年6月11日

筑前町議会



Citrus Ribbon
PROJECT

私たちは、コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくす
取り組みである「シトラスリボンプロジェクト」に
賛同しています。

～筑前町議会～

詳しくはこちら



シトラスリボン
プロジェクト



ここが知りたい!



一般質問

6月 定例会

6月議会では、4名の議員が一般質問を行い、町政全般の現状や方針について報告や説明を求めた。

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。
 詳細は、会議録(ホームページ掲載・図書館設置)をご参照ください。

会議録は
こちらから



①石橋 里美 議員…………… P9

きめ細やかなワクチン接種の取組みを

②深野 良二 議員…………… P10

ギガ
GIGAスクール構想で教育格差をうまない
施策を

③河内 直子 議員…………… P11

白線が消えかかっている駐車場の整備を

④山本 一洋 議員…………… P12

人口減少地域への、人口増加につながる
活性化策は

令和3年第2回定例会
(6月4日～11日)
本会議開会3日間

インターネットライブ中継
アクセス件数

214件



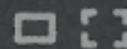
インターネットで議会傍聴しませんか?

本会議の様子をライブ配信(生中継)しています。
 録画映像配信は、議会終了から約3日後です。
 また、過去の録画配信(令和2年9月定例会～)も
 視聴できます。パソコンやスマートフォン等で
 アクセスしてください。

(町ホームページ→筑前町議会→本会議映像配信)



1:35 / 3:40





石橋 里美 議員

きめ細やかなワクチン接種の取組みを

タクシー利用券等の導入など様々に努力していく

新型コロナウイルス ワクチン接種

石橋 一人で悩んで不安を抱えている、一人暮らしの高齢者の方を訪問し、声かけや接種予約のお手伝いを、行政から区や民生委員の方へお願いできないか。

町長 民生委員さんの方にも、チラシだけでなく、是非声かけのお願いをしたい。

石橋 接種会場まで行く交通手段を持たない高齢者の方等に、タクシー利用券の導入はできないか。

副町長 町長からタクシー利用券等の導入検討の指示が出ており、要綱等を検討したい。



石橋 重度障害者のある方を自宅で介護されているご家族も、優先接種対象者に含められないか。

健康課長 国からの接種順位に係る取扱いなどの通達指導等に基づき、今後対応を検討していく。

町長 希望される方全員が接種できるように様々な努力していく。

石橋 一人でも多くの方々が安心して予約から接種まで終えることができるよう、きめ細やかな取り組みを行うよう要望する。

防災用備蓄品の充実

石橋 防災用備蓄品として本年4月に更新された生理用品や紙おむつの古い物の活用方法は。

教育課長 生理用品については今回、各中学校で有効に活用したい。

福祉課長 紙おむつは生活困窮者等への支援を筑前町社会福祉法人連絡会にて実施しており、活用が可能と考えている。

石橋 災害時に赤ちゃんを守るとともに保護者の負担軽減を図るため、使い捨て哺乳瓶を備蓄できないか。



使い捨て哺乳瓶

環境防災課長 製品の強度や価格、近隣市町村の導入状況等を調査した上で、備品更新時等に、洗浄が必要な哺乳瓶を、使い捨て哺乳瓶へ切替え購入するよう検討していく。

石橋 液体ミルクの備蓄について、その後の町の検討結果は。

環境防災課長 物資協定を締結している事業者からの調達で対応していく。



国産販売されている液体ミルク

深野 良二 議員



ギガ GIGAスクール構想で教育格差をうまない施策を

全ての子どもたちが安心して学習できる環境をめざす

小中学校GIGAスクール構想にむけた施策は

深野 町長のマニフェストにある、GIGAスクール構想具現化の施策は。

町長 情報化は必須である。10年前から光ファイバー敷設に取り組んだ。今のケーブル線を活用し、積極的に進めていく。

深野 緊急事態の折に自宅でのオンライン学習が出来るのか。

教育課長 オンライン学習がスムーズに進むよう適切に対応していく。

深野 ネット環境がない家庭に対し、ルーターを貸出すが、使用料の保護者負担に対し、生活が厳しい家庭に対する施策は。

教育課長 要保護・準要保護家庭以外の通信料の公費負担は考えていない。

深野 全ての子どもたちの環境を整え、同時にスタートしないと教育格差が生まれる。タブレットを活用した学習方法を模索し、学びの環境づくりを。

教育長 多様な子どもたち一人ひとりに、個別最適化された施設、能力が一層確実に育成できるICT環境を実現していく。

町長 教育環境については国に要望していく。



タブレットで学びの環境充実を

GIGAスクール構想とは？

児童生徒向け、一人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、創造性を育む教育を学校現場で持続的に実現させる構想です。



中学校新制服の保護者負担を軽減する協議を

深野 中学校が新制服になつたが、問題点はないのか。

教育課長 教育委員会や学校に対しての相談等はない。生徒たちの反応も、肯定的なものが多い。

深野 新制服の金額が同じ業者なのに、夜須中学校の制服の方が高い。業者との協議を行うべきでは。

教育課長 夜須中学校の制服については、価格を抑えてもらえるように、業者との協議を重ねていく。

コロナ禍における学習支援は

深野 感染等による自宅待機等の子どもたちに対する学習支援は。

教育課長 各担任が定期的な電話連絡や訪問を行い、プリントを活用し、学習している。

その他の質問

- 教職員不足の問題
- 教室不足の問題



河内 直子 議員

白線が消えかかっている駐車場の整備を

安全対策上、早急に作業を進め補修完了

白線が消えて危ない

河内 コスモスプラザ駐車場は白線が消えかかっている、事故の心配も懸念される。早急に整備すべきでは。

財政課長 質問の通告を受け、状況から早急に対応が必要と考え整備した。



コスモスプラザ駐車場

河内 教育課・こども未来センターの駐車場も同様の状態。確認し対応を。

教育課長 予算等を吟味し、早急に対応したい。

被保険者の約20%の人が2割負担に

河内 後期高齢者医療保険の一部2割負担で、どの位の人に影響がでるのか。



こども未来館駐車場

キレイに整備された

健康課長 国では、被保険者の約20%が該当すると見込んでおり、町では862人になると推計される。

河内 厚生労働省は、一人当たり年間平均3万円から4万円の負担増。それによる受診行動の変化で医療給付費が年間1050億円も減少すると試算している。減らしてきた国庫負担を元に戻せと国に要望すべきでは。

町長 止むを得ないと判断。制度について問題があれば、広域連合を通じ国等へ要望していきたい。

河内 国民が必要な医療が受けられなくなることを、政府が事前に知りながら負担増を図るなど、あつてはならないことだ。

生活保護は国民の権利

河内 コロナ禍で生活が悪化する中、申請件数が増えている。申請へのためらいの根深さがあるのでは。制度の周知徹底が必要では。

福祉課長 ホームページや相談窓口など、県の指導のもと適切な対応に努めている。

先取りで30人学級を

河内 教育に力を入れている筑前町として、先取りで30人学級を実現する考えは。

町長 必要性を教育的見地から認められたら、協議をしたい。

山本 一洋 議員



人口減少地域への、人口増加につながる活性化策は

民活による山麓沿線の活性化策を講じる

どう維持する？
人口3万人

山本 町長のマニフェストでは、人口減少地域への活性化策を推進すると書かれている。この人口減少地域は、どの地域なのか。

企画課長 三並小学校区域の人口減少が進んでおり、合併時と比較して、502人、23.7%の減。

山本 平成27年策定の総合戦略では、最重要施策として、山麓沿線の活性化を目指すとしている。すでに、6年が経過しているが、人口増に向けての対策は。

町長 上下水道の整備・教育環境・保育所といった生活に必要な施設の整備があつて定住人口が増える。やはりインフラの整備が必要。

山本 山麓線の開通・みなみの里等での取り組みによつて、交流人口は増えたが、定住人口増につながっていない。もつと具体的な取り組みが必要ではないか。

町長 三並校区を中心とした山麓沿線等々の活性化策を講じる必要がある。住民や施設の方々の人材を生かして、議論を進めたい。

山本 空き家の積極的な活用や生徒数減少小学校では、学校選択制の導入・学校の空き室を活用してコミュニティセンターとして活用する等、考えてみてはどうか。

町長 教育的分野も視野に入れ、地域資源を生かした活性化策を考えていきたい。

「教育づくり」の 具体策は

山本 中学生を対象とした町独自のアフタースクール（公営塾）は評価が高いと聞くが、開設の目的は。

教育課長 中学生の学習に対する意欲の喚起や家庭学習の定着を促し、安い費用で、遠くまで通うことなく、基礎的・基本的な内容の定着を目指している。

山本 アフタースクールを開設して4年目になるが、今日までの実績は。

教育課長 アンケートでは、勉強の仕方やテストの成績が上がったなどの回答があつた。

山本 現在の塾生は各学校120名定員に対して、実績で60名、50%の実績でしかない。塾生拡充のための、更なる方策はどのように考えているのか。

教育長 保護者の負担軽減と学習できる環境をしっかりと作り、定数に達するようPRする。

山本 県下でも大変評価が高く、先進的な事業である。もつとアピールをして、拡充してほしい。

町長 子どもたちの未来への投資をしたい。



元気に集団登校する子どもたち

コロナ禍の今...

コロナに負けるな!



「ありがとう」を伝えたい

第3弾

「コロナに負けるな」シリーズ第3弾では、「ありがとう」をテーマに、町内で活躍されている方々にインタビューをしました。

医療機関スタッフの方々へ

保健所の依頼を受けて、情報共有しながら陽性者の自宅又は医療機関から収容可能医療機関へ。搬送後は必ず車内消毒と、標準予防策衣等を医療ゴミとして廃棄しています。救急出動時は常時、標準予防策としての装備に加え、高度なN95マスクを常時装着し、万全を期して出動しています。

ありがとう!

私たち救急隊の業務は、医療機関までの搬送で一区切りとなりますが、医療機関のスタッフは検査・治療と長期にわたり感染予防に配慮しながら対応されています。心身共に大変ご苦労されているにも関わらず、救急車の快い受け入れに、大変感謝しています。



標準予防策装備で出動

甘木・朝倉消防署 西部分署 救急救命士

医療従事者の皆様へ

医療従事者の皆様におかれましては、世界的にコロナ感染が長期化している今日、治療・ケアに全力を注いでいただき大変感謝しております。

ありがとう!

まだまだ予断を許さない状況が続きますが、お体に気を付けてください。

私たち職員一同、通所されている利用者49名の手洗い・消毒・検温を、できる範囲で最大限人権を尊重しながら実施しています。特に手洗いについては、「嵐」の動画を見ながら音楽を流すことで、きっかけを作り、スムーズに実施できるようになりました。

障がい福祉サービス事業所 ほっとスペースあさくら 施設長



家族やご近所の方々へ

ありがとう!

毎朝、朝6時30分から元気に畑仕事に出かけられることに感謝。畑で実った野菜をお友達におすそ分けをし、喜んでもらえることに感謝。

自分が行動することに、何も言わず見守ってくれる家族に感謝。

感謝・感謝の日々を過ごしています。

朝園区 松田幸子さん(91歳)



毎日元気に畑仕事

まちの風景～炭焼池公園～



炭焼池は、県営地域環境用地整備事業として周囲を公園化した、灌漑用の池です。春は桜が咲き、初夏からアジサイが湖畔を埋め尽くし、地域の方の憩いの場所として整備され守られています。

この池の周辺には、曾根田地区が大事にしているお社が山中にあります。由緒あるお社ですので、足を延ばして古をしのんでみてはいかがでしょうか。

眼下の炭焼集落の先に三並小学校、その先には豊かな田園風景が広がっています。いつまでも残したい心の風景です。



まちかどスナップ



青い空に長くのびる雲が、コロナに打ち勝つ「勝利のVサイン」に見えました。

(朝園区:北村博任さん撮影)

議会広報委員会では、議会だよりの表紙写真を募集しています。町内で撮影した「とっておきの1枚」を、ぜひご応募ください。

【問合せ先】筑前町議会事務局 0946-42-6622

令和3年9月定例会日程(予定)

9月6日(月)～9月17日(金)

一般質問

9月8日(水)・9日(木)

決算審査特別委員会

9月13日(月)～15日(水)

※日程は変更になる場合があります

一般質問通告書は、8月25日以降、ホームページで公開する予定です。支所窓口や議会事務局でも配布しています。

編集後記

梅雨と同時に夏の暑さがやってきました。衣替えがいきなり夏服に、春は瞬間に過ぎて行ってしまった。桜は散り新緑が景色を変えていき、いつの間にか燕たちがやってきた。しばらくすると、子燕たちが羽ばたき始め、田んぼが黄色から緑の水田に変遷していった。季節は毎年同じようにめぐってきて、循環していく。種の法則を守っている動物植物たちは、そのめぐる季節の中で生きている。人は自分の中の自然と、知識という頭脳の両方をもつて、循環しながら生きている。やはり、人も自然の中で生かされているのだろう。(柳 雅明)

発行責任者

議長 田中 政浩

議会広報特別委員会

委員長 石橋 里美

副委員長 柳 雅明

委員 寺原 裕明

委員 木村 和彦

委員 木村 博文

委員 河内 直子